評価委員から提出された確認事項

1 財務諸表に関するもの（資料2関係）

蔵田委員

内 容	
1	<p>[会計処理の変更]</p> <p>地方独立行政法人への移行1年目ですので、新しい会計基準の適用にあたり多くの会計処理の変更が行われたと思います。現時点で、私が把握しているのは運営費負担金・交付金の処理と臨時損益（物品受増益と承継消耗品費）の2件です。その他にあればその内容と影響額を教えてください。</p>
2	<p>[安佐市民病院の建て替えに関する資産除去債務の計上]</p> <p>安佐市民病院の建て替えの件はまだ決定されていないので何も処理していない、議会で決定された事業年度で会計処理をするという理解でいいのでしょうか。</p>
3	<p>[留保資金（前回質問済み）]</p> <p>貸借対照表には現金預金130億円、有価証券65億円と多額の留保資金があります。確かに今までの縛りでは返済計画に基づいた経営がなされる必要があったと思いますが、独法化により弾力的な経営が可能になるのであれば、積極的な借入金の返済を行い財務体質を改善すべきだと思います。そのことによる金利負担の減少も独法化の効果といえるでしょう。</p>
4	<p>[営業外損益、臨時損益項目の説明]</p> <p>損益計算書の営業外損益、臨時損益項目については、その内容について質問が多くなることが予想されます。損益計算書の段階では、このままでいいと思いますが、対処方法として、附属明細書の（14）主な費用、収益の明細の表において開示しておくことがいいのではないかと考えます。</p>
5	<p>[貸倒引当金]</p> <p>貸借対照表に貸倒引当金として計上されている金額は241百万円と医業未収金に対する引当金としては多額だと思います。過去の実績値に基づく見積もり計上額でしょうからその金額の妥当性については会計監査で検証済みだと思います。その実際の回収についての実態を知りませんが、独法化を機会として弁護士等の積極的な利用も含めて弾力的な運用が可能であれば回収の促進をお願いしたいと思います。</p>
6	<p>[固定資産の減損関係]</p> <p>(ア) P8に記載のある「重要な遊休資産」の内容と減損処理の考え方について教えてください。 (イ) 「リハビリテーション病院・自立訓練施設」についてはその施設の性格上、恒常的に赤字になるとは思いますが、減損会計ではどのように理論上整理しているか教えてください。</p>
7	<p>[附属明細書]</p> <p>(ア) P24（13）開示すべきセグメント情報 「調整」という欄で3億円が計上されていますが、この内容を教えてください。 (イ) P23（12）役員及び職員の給与の明細 今のままでは役員支給人員が1人となっており、理事長の給料が外部より把握できる状態にあります。他の理事等は職員扱いということになっていると思いますが、理事は兼務であっても理事としての職務をしているので、何らかの按分基準を決めて、理事と職員との給与に按分するほうが今後の情報開示上好ましいと考えます。 また、監事報酬の支給方法について把握していませんが、支給されているのであれば全額役員報酬であるのではないかと考えます。</p>
8	<p>[税金関係]</p> <p>地方独立行政法人に移行されてからの税金関係（特に消費税）について教えてください。</p>

2 業務実績報告書に関するもの（資料3関係）

木矢委員

内 容	
1	<p>実績についてですが、広島市民病院の状態についてお聞きします。</p> <p>救急の受入困難事案に対する応需はこの病院も消極的ですが、コントロール機能として位置づけられているのでどのように対応されていますか。千田町急病センターで少しは一次救急が緩和したのでしょうか。</p> <p>また、がん治療も精力的にされ感心していますが、がん難民と称される方への対応は如何でしょうか。</p>
2	<p>独法化で弾力的予算執行可能の利点があると思いますが、ハイブリッドやダヴィンチ、3 TMR I 更新は以前から計画的だったのですか、または独法化のメリットでしょうか。</p>
3	<p>人材確保も自由度が増したものと思われませんが、26年度は正規職員化・いくつかの部署で職員増はできるも、看護職の確保がやや難しかったとみてよいのでしょうか。</p>

蔵田委員

内 容	
1	<p>[P 6 2 業務運営体制の確立]</p> <p>平成26年度中に開催した理事会として7回とありますが、評価委員会での説明では、理事会を毎月最低1回は行って意思決定を図っているとのことでした。回数として少ないように思えますが、この回数でいいのでしょうか？</p> <p>理事会については臨時も含めていいし、開催が困難な場合には持ち回り決議が可能ないようにしておけばいいのではないかと考えます。</p>
2	<p>[P 6 3 と P 7 1 との関連性]</p> <p>P 6 3 の病院事務室の機能強化において、「企画課」の新設がされたとの記載があります。この企画課の業務内容や理事会との関係等を教えていただければと思います。</p> <p>また、P 7 1 に経営コンサルタント活用の項目がありますが、企画課との役割分担を明確にしておかないと活動状況において首尾一貫性に欠ける場合がありますので、注意が必要と考えます。</p>
3	<p>[P 8 1 外部評価等の活用]</p> <p>この項目に監事監査の内容が記載されています。監事は役員であり、理事が適正に業務執行しているかどうかを監督する職務を有しており、一般的には内部として位置づけます。</p> <p>監事監査については「理事会を中心とした組織体制の整備」の項目で記載すべきかと思えます。</p>

才野原委員

内 容	
1	(P10) (1-(1)-ア) 計画を大幅に上回っており高い結果がでているので高く評価できるが、評価4とした理由は何か。
2	(P12) (1-(1)-ウ) 病棟分割により看護体制を強化したことを高く評価できるが、評価3とした理由は何か。
3	(P14) (1-(1)-キ) 手術室の整備増設が高い結果につながることを高く評価できるが、評価3とした理由は何か。
4	(P14) (1-(1)-ク) スタッフの増員と組織の新設が高い結果につながることを高く評価できるが、評価3とした理由は何か。
5	(P28) (1-(4)-ウ) 何人増員できたのか、「介護士」という名称は機構のオリジナルかどうか、条件はどのようであるか等、結果につながるものであれば高く評価できるのではないか。(法人の自己評価3)
6	(P28) (1-(4)-エ) 利用促進はともかく、拡大については利用者数が目標値に届いておらず、評価2が妥当と考えるが、評価3とした理由は何か。
7	(P29) (1-(4)-オ) 増員によって強化が図れたことはともかく、研修会によって地域リハの推進がどのようになったのかの記載があれば、それによって高く評価できるのではないか。(法人の自己評価3)
8	(P32) (2-(1)-イ) 資格取得数と課程修了数が多いこと、機構の負担による育成の努力等を高く評価できると思うが、評価3とした理由は何か。次の段階として、専門看護師、認定看護管理者の育成にも期待がにつながる。
9	(P53) (4-(1)-イ) 安佐市民病院のパス適用件数が下がっている理由は何か。適用と拡大に限界があるのであれば、それを加味して評価する必要がある。(法人の自己評価3)
10	(P55) (4-(2)-イ) 舟入病院ではオープンカンファレンスが必要ないのかどうか、記載されていない理由を知りたい。(法人の自己評価3)
11	(P63) (1-(3)) 経験のある事務職員の採用、組織再編、企画課の新設等が高く評価できるが、評価3とした理由は何か。
12	(P63) (1-(4)) 提案のしくみづくり、表彰制度が評価できる。提案数、改善数はいくらか。結果によっては高く評価できるのではないか。(法人の自己評価3)

才野原委員

内 容	
13	(P 6 4) (2 - (1) - ア) 増員と正規職員化により拡充ができています。工夫や努力がみられることも高く評価できるが、評価3とした理由は何か。
14	(P 6 6) (2 - (1) - イ) 相談件数の増、職員の増員と正規職員化が高く評価できるが、評価3とした理由は何か。
15	(P 6 6) (2 - (1) - ウ) 制度改正を実施したことが評価できる。改正の内容によっては高く評価できるが、評価3とした理由は何か。
16	(P 6 7) (2 - (1) - エ) 結果的に確保できていることと努力が見えることで高く評価できるが、評価3とした理由は何か。
17	(P 6 8) (2 - (1) - カ) 看護総合アドバイザーは評価できる。新たな勤務体制はどのようなものか。結果がでていれば高く評価できるのではないか。(法人の自己評価3)
18	(P 7 3) (2 - (3) - イ) 機構の支援によるものであることと、多い取得者数が評価できる。次のステップとして、専門看護師、認定看護管理者への拡大が期待できる。(法人の自己評価3)
19	(P 7 5) (3 - (3)) 施設整備課の新設、方式の変更改善等が評価できる。メリットはともかくとして、弊害はないのかどうか。(法人の自己評価3)
20	(P 7 7) (4 - (1)) 人事・給与制度の見直しは法人化によるメリットとして高く評価できる。服務規律の基準の緩和による機会の拡大とは具体的にはどのようなことか。内容によっては高く評価できるのではないか。(法人の自己評価3)
21	(P 7 8) (4 - (2)) 医療スタッフの負担軽減への取り組みが評価できる。メッセージも工夫次第で結果が出せる職種だと考えるがそれへの言及がないのはなぜか。(法人の自己評価3)
22	(P 7 9) (4 - (3) - ア) 学童保育と学童の夏季休暇中の対応はどのようになっているか。(法人の自己評価3)
23	(P 8 0) (4 - (3) - ウ) メンタルヘルス対策は評価できる。中期計画にハラスメント対策がないのはなぜか。(法人の自己評価3)

松村委員

内 容	
1	70頁に「病院経営に精通した人材の民間等からの採用」で、病院勤務経験のある事務職員9人を採用したとありますが、その詳細を教えてください。すなわち、庁内と民間から何人で経験年数は何年とか、および、採用後のポストについて等具体的にご教示下さい。なお、7/13の委員会では、影本理事長は、「優秀な人材が民間には見当たらない」との見解を示されましたが、どういった根拠によるものでしょうか。民間からの公募は行われた上での見解でしょうか。また、事務長のプロパー化についての進捗状況はいかがでしょうか。
2	74頁に「各病院長への適切な権限配分」となっていますが、物品購入の権限が5万円未満から10万円未満となった以外に、具体的な権限配分について、医療機器整備計画を含めご教示下さい。

3 決算説明資料に関するもの（参考資料3関係）

蔵田委員

内 容	
1	[運営費負担金・交付金に関する会計処理方法の変更（前回質問済み）] 運営費負担金・交付金に関する会計処理方法の変更については、移行後初年度における会計方針の変更として淡々と説明されればいいと思います。 予算との関係で説明しようとするれば、給与費・材料費等が予算を達成できなかったという説明が前面に出てきて、その点について自己評価をする場合にどこかの項目に計画通り達成できなかった点を記載する必要がでてくると思います。そうした場合には、自己評価の記号との整合性が取れなくなると思います。 決算内容の説明方法について再考をお願いいたします。

松村委員

内 容	
1	2頁の上2行に「11. 1億円の最高の黒字額となった」との記載と図ですが、これでは、医業収益・支出の差額の増によるとの誤解を招きかねません。11. 1億円のうち、運営負担金・交付金が8.6億円増えたのが主なものです。その旨、記載を変更または追記された方がわかりやすいと考えます。